

授業科目 教育社会制度論 II

【担当教員名】 吉田 重和		対象学年	2	対象学科	スポ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		◎	
【概要・一般目標：GIO】 価値観が多様化・複雑化している現代社会において、学校教育を中心とする教育制度もまた、多様化・複雑化してきている。「教育社会制度論Ⅰ」に引き続き、現代社会において、子どもの教育の質を保証するための仕組みが制度的・行政的にどのように確立されているかを受講者が理解することを、本講義の目標とする。また、講義の進行状況に応じて、教育基本法をはじめとする主たる教育関連法規の理念や内容についても概観していく。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 現代の公教育の制度的枠組みと理念を説明できる。 2. 現代教育がどのように制度的に運用されているかについて、制度的実態とその課題を説明できる。 3. 主たる教育関連法規の理念や内容を説明することができる。 4. 教育制度の法的根拠について知る。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	児童と生徒の管理			2, 4	講義
2	就学前教育制度／学校教育法の概要			2, 3, 4	講義
3	特別支援教育制度／教職員と教育行政に関する諸法規の概要（1）			2, 3, 4	講義
4	教員養成・研修制度／教職員と教育行政に関する諸法規の概要（2）			2, 3, 4	講義
5	社会教育行政／社会教育・児童福祉・人権に関する諸法規の概要			2, 3, 4	講義
6	教育財政			2, 4	講義
7	現代の教育行政改革の動向と課題			1	講義
8	まとめ			1, 2, 3, 4	まとめ
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		現代教育の制度と行政	河野 和清 他	福村出版	2008・2,300円＋税
		やさしい教育法規の読み方 新訂4版	菱村 幸彦	教育開発研究所	2008・3,150円
		はじめて学ぶ教育法規 全訂新版	菱村 幸彦	教育開発研究所	2008・2,205円
その他の資料		必要に応じてプリントを配布			
【評価方法】 平素の学習状況（出席状況、授業態度、ワークシートや小レポートの内容／25%程度）及び定期試験の結果（75%程度）を総合的に判断して評価する。		【履修上の留意点】 本講義を受講するにあたっては、「教職概論」「教育社会制度論Ⅰ」をはじめとする教職課程の各科目を履修（受講）していることが望ましい。			